

2023年度 活動報告

兵庫漁業協同組合

兵庫運河における主な活動内容

- ・藩種マット投入
- ・育成状況の確認
- ・アマモの種取り

アマモ育成活動

環境学習

- ・浜山小学校の水槽にてアマモの育成
- ・あつ浜にてアマモの苗植え
- ・アマモの環境学習 座学など

- ・ひょうご・おたる運河調査隊
- ・兵庫運河祭・漁協祭
- ・兵庫運河バックヤードツアー

その他イベント

2023年度

アマモ育成活動



垂下式アマモ育成実験

種植の際に容器の下にリサイクルシートを用いて腐葉土を敷き詰め、種植え用の穴をあけて種を植え運河の底に沈めず浮かした状態での育成実験を実施。
徳島大学の学生の方に手伝っていただき成長の様子を記録しております。

浜山小学校・デンソーテンによる播種シート作成、運河へ投入

アマモの種を特殊なシートで挟んで播種シートを作成し運河へ投入。
育成状況を定期調査し観察しております。



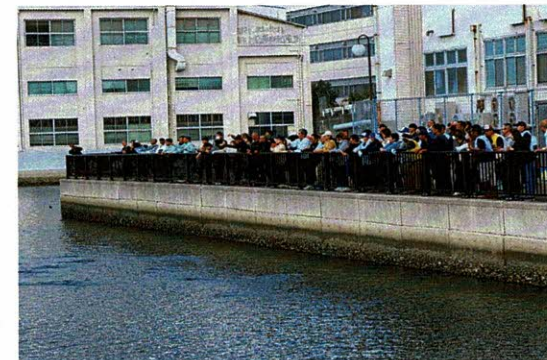
アマモの種取り

アマモの苗より1粒ずつ種を取り、汚れや不純物を除く作業からアマモの育成は始まります。手作業で何時間もかけ皆さん真剣に種取り作業をしました。取った種は海水瓶の中に入れて冷蔵庫で何か月か保存されます。



種子団子を陸から投入

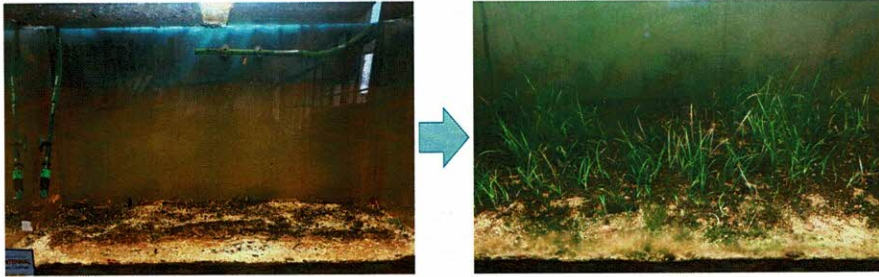
兵庫運河を美しくする会に所属する企業や団体が運河周辺を掃除し、その後土粘土で作成したアマモの種子団子を陸上より運河へ投入。
育成状況を順次確認中です。



環境学習

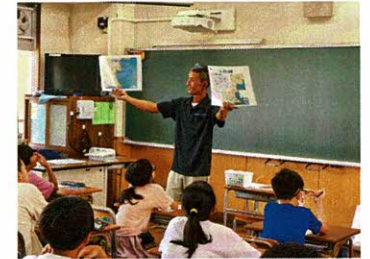
浜山小学校・こべっこランドでのアマモ水槽育成

23年10月よりそれぞれの水槽内にアマモの種を植え、人工の太陽光で発芽→成長するまでを記録、実際のアマモを観察しながら環境学習やアマモについてより知っていただく為に設置。毎週同じ角度で記録中



兵庫運河の授業

地元の子供たちにもっと兵庫運河を知ってもらい興味を持ってもらう為、兵庫漁業協同組合の組合員である漁師の方が授業を行いました。みんな目の前の運河の話に興味津々で聞き入ってくれてました。マモがなぜ必要なのか、兵庫運河がなぜ綺麗になったのかなど今の子供たちが知らない事を今後も伝えていきたいと思っております。



大阪湾生物一斉調査

浜山小学校5年生の生徒の皆さんと集まれ生き物の浜にて兵庫運河に生息する魚や海藻の自然学習を行いました。この授業にはサンテレビの取材も入り漁業組合を筆頭に各専門分野の先生方も一緒になってアマモや魚などを実際触りながら記録していただきました。小学生の皆さんは運河に入れることが楽しくて全身濡れてしまう子もいる程夢中になって生物や海藻を探していました。最後は少し雨の中陸上よりアマモ団子を投入し終了いたしました。



その他イベント



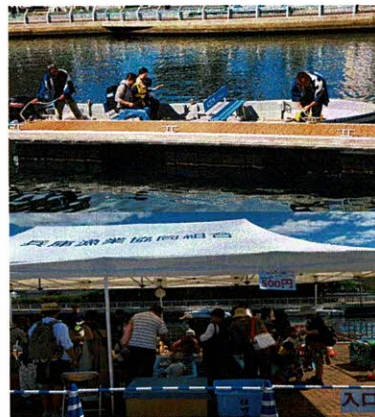
兵庫運河バックヤードツアー

神戸市港湾局が主催の兵庫運河バックヤードツアーを開催いたしました。一般募集で応募された中から24組が選ばれ参加、保護者が見守る中座学での学習とアマモ団子の作成、生き物に触れるタッチプールを設置しそれぞれ班に分かれ各ブースで体験し記録して運河を学びながら楽しんで帰っていかれました。



漁協祭・運河祭

イオンモール神戸南の目も前にある兵庫運河にて「漁協祭」と「運河祭」をそれぞれ別日で開催。漁協祭では組合の漁師が船を出し運河でのクルージングを実施、運河祭ではタッチプールとしらす丼のキッチンカーを出店して兵庫の海で獲れる魚に触れあったり食したりしていただきました。クルージングではアマモの大切さなどの解説をしました。

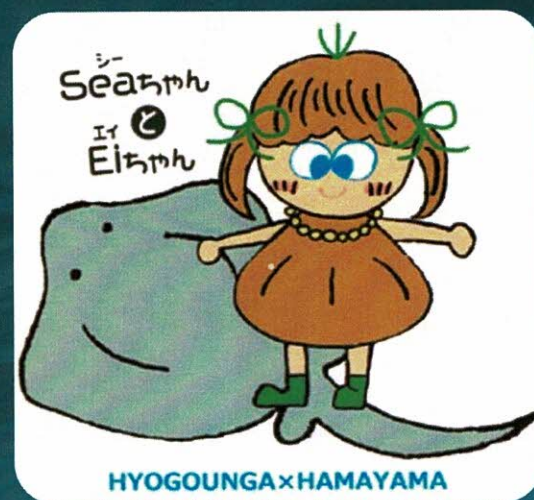


ひょうご・おたる運河調査隊

日本財団・サンテレビ主催の【ひょうご・おたる運河調査隊】が開催されました。兵庫運河の歴史と環境、小樽運河の歴史や文化などを親元を離れそれぞれの地域で2泊3日たっぷり学習と体験をしていただきました。兵庫運河ではアマモやあさり、水質の座学やタッチプールやサップなどの体験もあり時間も足りないくらいいっぱい学んで楽しんでお昼には兵庫県産のしらす丼とわかめの味噌汁など兵庫の美味しい料理やお土産も沢山持って帰りました。どのブースでもみんな大興奮で特にタッチプールでお魚に触れることが少ない北海道チームはなかなかタッチプールから離れず楽しんでいました。



2024年度は兵庫運河の藻場再生活動の更なる
努力と発展のために尽力いたします



兵庫漁業協同組合